

やろまいシート 国際水準GAP版（穀物）

農場名

チェック日

No.	取組事項	米	麦	大豆	チェック欄	「国際水準GAPガイドライン」への対応		
						「穀物」番号	区分	分野
1	農場経営に必要な基本情報である栽培品目名、ほ場の名称・所在地、面積等を記載した台帳を整備している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	1	I 経営体制全体	農場経営管理
2	施設の名称・所在地、機械の概要を記載した台帳を整備している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	1	I 経営体制全体	農場経営管理
3	食品安全、農薬の取り扱い、労務管理等、業務ごとの責任者を決め、農場内に周知している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	2	I 経営体制全体	農場経営管理
4	責任者は最新の情報を入手し、研修を受講することにより知識・能力の向上・更新をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	2	I 経営体制全体	農場経営管理
5	「食品安全」「環境保全」「労働安全」「人権保護」「農場経営管理」の5つの分野を含んだ方針を決め、農場内に周知している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	3	I 経営体制全体	農場経営管理
6	「やろまいシート国際水準GAP版（穀物）」に沿った農場の管理を実施するため、農場のルール決定、ルールに基づく運営、実施状況の確認、必要に応じた見直しをしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	4	I 経営体制全体	農場経営管理
7	チェックシートの自己点検に加え、産地の責任者等による内部点検等の客観的な点検の仕組みを活用している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	4	I 経営体制全体	農場経営管理
8	自ら開発した品種や技術は登録を行うなど、知的財産を保護・活用している。また、商品の名称やブランド等は必要があれば商標登録するなどしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	5	II 生産体制全体	農場経営管理
9	登録品種は無断で増殖しないなど種苗を適切に使用し、また、商品の名称やブランド等を適切に使用している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	5	II 生産体制全体	農場経営管理
10	栽培品種、施肥量、栽培時期、収穫時期、栽培方法、役割分担などの計画を立て、実施した農作業を記録し、計画と実績を比較し、次の計画に役立てている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	6	II 生産体制全体	農場経営管理
11	種苗・肥料・農薬などの購入伝票を保管し、農場の管理の明示に必要な記録を作成している。法令で定められているものは、その必要年数保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	7	II 生産体制全体	農場経営管理
12	生産工程の中で発生する可能性のある食品安全にかかる危害要因を確認し、リストアップしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	8	III リスク管理	食品安全
13	リスクが高いと評価した食品安全にかかる危害要因による汚染を防止・低減する対策を実施するための農場のルールを定め、対策の実施、検証、見直しを実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	8	III リスク管理	食品安全
14	農場の中の危険な場所や危険な作業等、農作業事故の要因となるものを確認し、リストアップしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	9	III リスク管理	労働安全
15	リスクが高いと評価した事項についてリスクを低減・排除する対策を実施するための農場のルールを定め、対策の実施、検証、見直しを実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	9	III リスク管理	労働安全
16	環境汚染の起こりやすさや環境に対する悪影響の大きさを踏まえて、環境負荷要因をリストアップしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	10	III リスク管理	環境保全
17	環境負荷要因を低減するための対策を実施するための農場のルールを定め、対策の実施、検証、見直しを実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	10	III リスク管理	環境保全
18	種苗、肥料、農薬等の使用や資材の洗浄等農場の管理等に関して記録し、収穫物については収穫ロットごとに収穫ほ場、収穫日を記録し保管している。また、収穫記録と結びついた出荷日、出荷量等に関して記録し保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	11	III リスク管理	農場経営管理
19	出荷する商品の表示の管理に関して記録し保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	11	III リスク管理	農場経営管理
20	異品種・異物混入を防止する対策をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	12	III リスク管理	食品安全
21	新規需要米などの用途限定米、カビが付着した米など食用不適米穀は食用米と区別して保管し、販売・譲渡する時は転用防止対策を実施している。また、廃棄する場合は適切に処分している。	●	—	—	<input type="checkbox"/>	13	III リスク管理	農場経営管理
22	外部委託先に対し農場のルールの遵守を求め、ルールに違反した場合の措置、定期的な点検の受け入れ等を取り決めている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	14	III リスク管理	農場経営管理
23	資材等の供給者や検査機関を含むサービス提供者について、選定に係る方法（これまでの実績評価等）を定めて、情報を収集し信頼性を評価している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	15	III リスク管理	農場経営管理
24	クレームや農場のルール違反が発生した場合に、迅速に対応できるよう対応手順を定め、対応した記録を作成し保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	16	III リスク管理	農場経営管理
25	事故・災害時の対応策をあらかじめ取り決め、収入保険や農業共済へ加入する等の備えをしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	17	III リスク管理	農場経営管理
26	労働者の性別、国籍、宗教等による差別や偏見がない職場環境を作っている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	18	IV 人的資源	人権保護
27	雇用するときには就業時間や休日等の雇用条件を提示し、合意を得ている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	18	IV 人的資源	人権保護
28	技能実習生など外国人労働者の在留資格の確認、必要な届出、快適に住める住居の提供などを実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	19	IV 人的資源	人権保護
29	各自の役割や責任の明確化などについて家族間で十分話し合いをしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	20	IV 人的資源	人権保護
30	労働条件を遵守し、経営者と労働者で労働条件、労働環境、労働安全等に関して意見交換している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	21	IV 人的資源	人権保護
31	作業者が必要な技術を身に付けるため、現場での教育、訓練の他、講習の受講や資格取得の促進をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	22,25	IV 人的資源	労働安全 人権保護 農場経営管理

取り組んだ →
該当なし →

No.	取組事項	米	麦	大豆	チエツク欄	「国際水準GAPガイドライン」への対応		
						「穀物」番号	区分	分野
32	業務が原因で負傷、もしくは疾病にかかった農作業従事者を保護するため、労災保険に加入している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	23	IV人的資源	人権保護 農場経営管理
33	乾燥調製貯蔵施設では、管理者とオペレーターとの責任分担を明確にし、管理者による適切な判断・管理、オペレーターによる確実な操作ができています。	●	●	—	<input type="checkbox"/>	24	IV人的資源	農場経営管理
34	作業環境の整理、防護服の着用等、安全に作業を行うための服装や保護具の着用・管理を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	26	IV人的資源	労働安全
35	清潔な水・救急箱を用意し、事故への対応手順や連絡網などを定めて、農場内に周知している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	27	IV人的資源	労働安全
36	農産物の汚染や事故を防止するため、食品安全・衛生管理、労働安全、環境への配慮に関する入場時のルールを定めて、農場入場者（訪問者を含む）に対して遵守するよう周知している。 ・手洗い励行 ・清潔な作業着 ・帽子着用 ・体調不良時の休業 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	28	V経営資源	農場経営管理
37	ほ場や施設から通える場所に清潔な手洗いやトイレを設置し衛生管理を実施している。 ・定期的な清掃 ・ペーパータオル等清潔なものを使用 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	29	V経営資源	食品安全 農場経営管理
38	ほ場やその周辺環境（土壌や汚水等）、廃棄物、資材等からの危害要因による土壌の汚染及び土壌中の危害要因に由来する農産物の汚染の可能性の評価を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	30	V経営資源	食品安全
39	問題となる危害要因（近隣の工場排水、堆肥の廃汁など）による土壌汚染の可能性がある場合は、対策を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	30	V経営資源	食品安全
40	土壌汚染の危害要因となるほ場の廃棄物や資材等は適切に処分している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	30	V経営資源	食品安全
41	生産する農産物のカドミウム濃度が基準値を超える可能性のある地域では、その基準値を遵守できるよう、生産される農産物のカドミウム濃度に応じた低減対策を実施している。それ以外の地域においても、食品安全上のリスクをできるだけ減らすため低減対策を実施している。	●	—	●	<input type="checkbox"/>	31	V経営資源	食品安全
42	堆肥等の有機物の活用による土づくり等を通じた適正な土壌管理を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	32	V経営資源	環境保全
43	土壌の侵食を軽減する対策として、ほ場の裸地期間が短くなる栽培計画などを立てている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	33	V経営資源	環境保全
44	水源（農業用水、地下水、水道、その他）が明らかな水を用いている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	34	V経営資源	食品安全
45	水に含まれる危害要因に汚染される可能性がある場合、水質分析を行い、問題を明らかにし、対策を実施している。（危害要因の例：大雨・浸水の後、有害な化学物質・微生物等、高温期などに濁り、異臭がある場合の有害微生物等）	●	●	●	<input type="checkbox"/>	34	V経営資源	食品安全
46	洗浄水に水道水以外を使用する場合、衛生上支障のない水を用いている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	34	V経営資源	食品安全
47	ほ場及び農産物取扱施設で発生した排水は直接河川等流れないようにし、植物残さ、廃棄物等を取り除く等している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	35	V経営資源	環境保全
48	代かき後の濁水が用水に流出しないよう漏水対策をしている。 ・浅水状態での代かき ・あぜめぐり ・止水板の利用 など	●	—	—	<input type="checkbox"/>	36	V経営資源	環境安全
49	農産物取扱施設・設備において、侵入・発生しやすい有害生物（昆虫、小動物、鳥類、かび等）を把握し、侵入・発生防止対策、異物、有害植物等の混入防止対策を実施している。 ・ペット等動物を入れない対策 ・ネズミやハエ・ゴキブリなどの防除又は駆除 ・小石、ガラス片、金属屑のような異物や有害な雑草などの混入防止対策 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	37	V経営資源	食品安全
50	農産物取扱施設・設備の保守管理、点検、整備、清掃等の適切な管理を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	37	V経営資源	食品安全
51	喫煙・飲食場所を指定し、異物やアレルギーを作業場に持ち込まないようにしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	38	V経営資源	食品安全 農場経営管理
52	農場内の農産物に共通する工程を確認し、異物混入やアレルギーと農産物の交差汚染の防止対策を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	38	V経営資源	食品安全 農場経営管理
53	農産物を適切に保管、貯蔵している。 ・貯蔵施設内の温度の記録 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	39	V経営資源	食品安全
54	調製・出荷作業場、保管・貯蔵施設など全ての農産物取扱施設において衛生管理を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	39	V経営資源	食品安全
55	器具、容器、設備、機械・装置及び運搬車両を把握している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	40	V経営資源	食品安全 環境保全 労働安全
56	日常的・定期的、器具、容器、設備、機械・装置及び運搬車両の点検・修繕を行うとともに、安全装備等の確認や衛生管理など適切な管理を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	40	V経営資源	食品安全 環境保全 労働安全
57	器具、容器、設備、機械・装置及び運搬車両の使用点検、使用後の整備及び適正な管理を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	40	V経営資源	食品安全 環境保全 労働安全
58	はかりや温度計、金属探知機など計量機器の一覧表を作成し、定期的に点検・校正を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	41	V経営資源	農場経営管理

取り組んだ →
 該当なし →

No.	取組事項	米	麦	大豆	チエツク欄	「国際水準GAPガイドライン」への対応		
						「穀物」番号	区分	分野
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 取り組んだ → <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし → <input checked="" type="checkbox"/> </div>							
59	栽培・収穫・調製・運搬に使用する器具・包装容器等や掃除道具及び洗浄剤・消毒剤・機械油等の安全性を確認するとともに、適切な保管、取扱い、洗浄等を実施している。 ・収穫用ハサミの消毒 ・作業前後に出荷調製の機械や架台の清掃 ・安全で清潔な包装容器の使用 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	42	V経営資源	食品安全
60	機械、装置、器具等は、取扱説明書等により適切な使用方法や注意・禁止事項を確認して、適正に使用している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	43	V経営資源	労働安全
61	農産物に燃料が付着しないよう、流出した燃料が水源や土壌を汚染しないよう燃料漏れ対策を講じている。 ・防油堤 ・吸着シートや十分な砂の準備 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	44	V経営資源	食品安全 環境保全 労働安全
62	火災の防止等のため、ガソリンなどの揮発油は安全な容器に保管し、保管や使用する場所では火気厳禁としている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	44	V経営資源	食品安全 環境保全 労働安全
63	危険物の保管については、消防法や自治体の条例等を遵守している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	44	V経営資源	食品安全 環境保全 労働安全
64	作物残さの腐熟促進と害虫防除のため収穫後できる限り早くほ場にすき込んでいる。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	45	V経営資源	環境保全
65	作業工程の工夫など、省エネに取り組んでいる。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	45	V経営資源	環境保全
66	緩効性肥料の利用や局所施肥などの温室効果ガス削減の取組を行っている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	45	VI栽培管理	環境保全
67	水田については、メタンの排出抑制のため中干期間の延長を検討している。	●	—	—	<input type="checkbox"/>	45	VI栽培管理	環境保全
68	農場から出る廃棄物を把握し、適切に分別・管理して処分している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	46	V経営資源	食品安全 環境保全
69	栽培、出荷調製等に用いる各種資材について、コンテナの利用など廃棄物の出にくい資材を選定するようにしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	46	V経営資源	環境保全 労働安全
70	作物残さについては、堆肥化したり、ほ場への還元を行うなど廃棄物の削減を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	46	V経営資源	食品安全 環境保全
71	資材倉庫を含め、農場内は定期的に整理・整頓・清掃を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	47	V経営資源	環境保全 労働安全
72	農薬の空き容器は地域で定められた回収・廃棄方法で処理している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	47	V経営資源	環境保全 労働安全
73	期限切れ農薬は、販売店による回収に出すなど適正に処理している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	47	V経営資源	環境保全 労働安全
74	ほ場や作業場から発生する被覆フィルム・こん包資材等の廃棄物は不適切な焼却は行わず、分別して適正に処理し、その記録を保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	47	V経営資源	環境保全 労働安全
75	住民等への騒音、振動、悪臭、煙・埃・有害物質の飛散・流出等の配慮と対策を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	48	V経営資源	環境保全
76	鳥獣を引き寄せない等生物多様性に配慮した鳥獣被害防止対策を実施している。 ・食品残さ管理の徹底 ・侵入防止柵の設置 ・追い払い活動 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	49	V経営資源	環境保全
77	信頼できる供給元からの適正な手段により種苗を入手し、購入伝票等により、品種名、使用農薬（使用方法、使用成分名と使用回数）等の育苗の管理を確認し、記録を保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	50	VI栽培管理	食品安全
78	周辺ほ場の農薬使用者とお互いに農薬の影響がないよう話し合いをしたうえで、必要に応じて緩衝地帯や防風ネット、風よけとなる緑肥を栽培する等の対策をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	51	VI栽培管理	食品安全
79	【総合的病害虫・雑草管理（IPM）の「予防」の取組】 土壌伝染性病害虫や土壌害虫の発生が少ないほ場を選択している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	52	VI栽培管理	環境保全
80	【総合的病害虫・雑草管理（IPM）の「予防」の取組】 作期の移動、種子消毒、マルチなど病害虫・雑草を予防する対策を取り入れている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	52	VI栽培管理	環境保全
81	【総合的病害虫・雑草管理（IPM）の「判断」の取組】 病害虫の発生状況を観察や予察情報などで確認し防除している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	53	VI栽培管理	環境保全
82	【総合的病害虫・雑草管理（IPM）の「防除」の取組】 防虫ネットなど化学農薬以外の防除技術を組み合わせている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	54	VI栽培管理	環境保全
83	【総合的病害虫・雑草管理（IPM）の「防除」の取組】 同じ種類の農薬の連用を避けるなど、薬剤抵抗性を考慮した防除を行っている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	54	VI栽培管理	環境保全
84	使用する作物の登録農薬であることを確認して購入し、使用基準に違反しない農薬使用計画を作成している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	55	VI栽培管理	食品安全
85	農薬使用計画に基づき、農薬をラベルの使用基準どおり使用している。使用前に使用濃度や散布方法など、適正な使用方法の再確認を実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	56	VI栽培管理	食品安全
86	農薬は、散布計画を立て、周辺環境を汚染しない場所で必要な量だけ調製し、使用した計量機器等の洗浄を適切に実施している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	57	VI栽培管理	環境保全
87	農薬散布時における周辺作物・周辺住民等への影響を回避している。 ・粒剤等の飛散しにくい農薬を使用 ・風や散布機の風量等に注意 ・土壌くん蒸剤等を使用するときは被覆 ・散布前に近隣住民に周知	●	●	●	<input type="checkbox"/>	58	VI栽培管理	環境保全

No.	取組事項	米	麦	大豆	チエツク欄	「国際水準GAPガイドライン」への対応		
						「穀物」番号	区分	分野
88	農薬を使用する場合は、農薬が身体に付着しないような服装等に心がけ、マスクを着用して作業している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	59	VI栽培管理	労働安全
89	農薬の容器等の表示内容を確認し、表示に基づく安全な作業を行うための装備を整え、調製、防除、片付け作業を行っている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	59	VI栽培管理	労働安全
90	防除に使用した衣類や保護装備等は、他の衣類と一緒にせず、必ず洗剤を用いて適切に洗浄、乾燥し、他への污染がないように保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	59	VI栽培管理	労働安全
91	水田から農薬が流出しないよう漏水対策をする。大雨の前は農薬の使用を中止する。	●	—	—	<input type="checkbox"/>	60	VI栽培管理	環境保全
92	防除器具等十分に点検し、使用後は十分に洗浄をし、残液・洗浄排水を適切に処理している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	61	VI栽培管理	食品安全 環境保全
93	農薬を使用したときは、日時、農薬名、場所、対象作物、使用量又は希釈倍数等を記載し、記録の保存期間を規定している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	62	VI栽培管理	食品安全
94	農薬は、環境保全の観点から流出漏出防止対策をし、カギをかけて保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	63	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
95	「毒物」「劇物」に該当する農薬は、保管庫に「医薬用外毒物」、「医薬用外劇物」の表示をして保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	63	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
96	発火性、引火性のある危険物に該当する農薬は、それ以外の農薬と分けて保管し、「火気厳禁」などの危険物表示を行う。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	63	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
97	立入可能な保管庫の場合、換気口を設置するなど通気性を確保している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	63	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
98	農薬を別の容器に移しかえないようにしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	63	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
99	責任者は、作業者が適正に農薬散布ができるよう、散布する農薬名や希釈倍数、対象品目等を作業者に指示、その結果についても検証している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	64	VI栽培管理	食品安全
100	堆肥など、原料の種類や主な成分の含有量が明らかなものを選択している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	65	V経営資源	食品安全 環境保全
101	堆肥は、適切な期間・温度の発酵維持によって雑草種子、有害微生物の殺滅対策がされた、十分堆肥化したものを使用している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	65	VI栽培管理	食品安全 環境保全
102	肥料は、登録・届け出された表示があるものを選択している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	66	VI栽培管理	食品安全 環境保全
103	肥料や土壌改良材等の資材は、原材料、製造工程の把握等により放射性物質や重金属、化学物質の汚染リスクがないか安全性、成分の確認をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	66	VI栽培管理	食品安全 環境保全
104	使用する肥料等の成分の含有量を把握して、環境保全に配慮した肥料等の利用計画を立てている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	66	VI栽培管理	食品安全 環境保全
105	定期的に土壌診断を実施し、土壌診断結果を踏まえた適正な施肥計画を立てている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	67	VI栽培管理	環境保全
106	県の施肥基準又はJ A等の栽培ごよみに基づいた施肥を行っている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	67	VI栽培管理	環境保全
107	堆肥などの肥料成分を考慮した施肥を行っている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	67	VI栽培管理	環境保全
108	種苗、肥料、農薬等の使用や資材の洗浄等に関して記録し、収穫物については収穫ほ場、収穫日、出荷日、出荷量等に関して記録し保管している。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	68	VI栽培管理	農場経営管理
109	肥料・農薬などの出入庫管理簿を付け、在庫の管理をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	63,69	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
110	肥料・農薬などは未熟堆肥との接触による交差汚染防止や農産物への接触防止、環境への流出防止等の対策をしている。 ・肥料・資材等は屋根のある場所又はシートをかけて保管 ・農薬はトレーに入れて保管 など	●	●	●	<input type="checkbox"/>	69	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
111	肥料・農薬などは、崩落・落下しないように保管し、発熱・発火・爆発防止等に配慮した保管をしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	69	VI栽培管理	食品安全 環境保全 労働安全
112	麦類赤かび病の汚染低減策を実施している。 ・登録薬剤による適期防除 ・まん延やかび毒蓄積防止のための適期収穫 ・作物残さの適切処理 ・適切な乾燥調製とかび毒検査結果による被害麦の除去 など	—	●	—	<input type="checkbox"/>	70	VII専用項目	食品安全
113	健康を維持するため、定期検診を受けている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	—	—	—
114	市場や小売業者、消費者とのコミュニケーションに努め、経営に生かすようにしている。	●	●	●	<input type="checkbox"/>	—	—	—

取り組んだ →
 該当なし →